

# 有機材・薄膜ナノ解析

## 「SPRING-8」に拠点

住化など

住友化学や日東電工、キヤノン、関西学院大学など産学チームは2日、兵庫県にある大型放射光施設「SPRING-8」

に写真に新たな研究拠点を設置したと発表した。世界最高レベルといわれる明るいエックス線を活用し、有機材料や高

分子の薄膜をナノメートル（ナノは10億分の1）レベルで解析する。次世代電池や表示装置、薬物送達システムなどの開発に役立てる。

研究拠点は大型放射光施設のエックス線を取り

出して使うビームライン。独自に建設することで、自らの研究を優先させることができる。

数億円の総工費を旭化成やクラレ、昭和電工、東レなど19社・大学が負担した。

SPRING-8は昨秋の行政刷新会議の事業仕分けで、利用料を上げて運転コストをまかなうことなどが議論された。

産学チームは、企業の判断で研究成果を非公開にする場合は、現行ルールに従って応分の利用料を払うとしている。

H22.2.3

日経産業新聞

(先端技術・11面)

